環境活動レポート

2014年度活動報告
（2014年1月～2014年12月）

株式会社　東興電機製作所

2015年1月20日

内容

1. はじめに

株式会社東興電機製作所は1963年に創業し、製造部門（医療機器製造および放射線測定装置製造）と、ITに関する様々なサービスを提供するTOKO DS (ITサービス部)から成り立ちます。2008年新年の朝礼にて、今年は環境問題に社員全員が感心を持ち、会社として何ができるか考え、具体的に行動していこうという社長の挨拶から当社のエコ活動は始まりました。同年6月、取引先での会合で「エコアクション21」の存在を知り、当社でも取得を目指して実際に動き始め、2009年4月に認証取得し、現在もエコアクション21のシステムに基づいた継続的な環境保全活動につとめています。

2. 対象範囲

・事業所名および代表者氏名

株式会社　東興電機製作所
代表取締役社長　坂　郷治

・所在地

三鷹本社　：　〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-9-5 第一中央ビル4階
青梅工場　：　〒198-0022 東京都青梅市藤橋3-3-5

・環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者　：　川本　純子
TEL　0422-55-5055（代表）
FAX　0422-55-5051
E-mail　salesteam.japan@tokods.com

・事業内容

青梅工場（製造部門）　：超音波診断装置プローブ製造、放射線測定装置製造・検査
三鷹本社（ITサービス部門）：開発製品評価・検証、ＷＥＢサイトユーザビリティコンサルティング、取扱説明書作成、技術文書翻訳

・設立　1963年6月

・資本金　1,000万円

・従業員数　32名

・敷地面積　三鷹本社：86.1㎡　/　青梅工場：　1495.96 ㎡

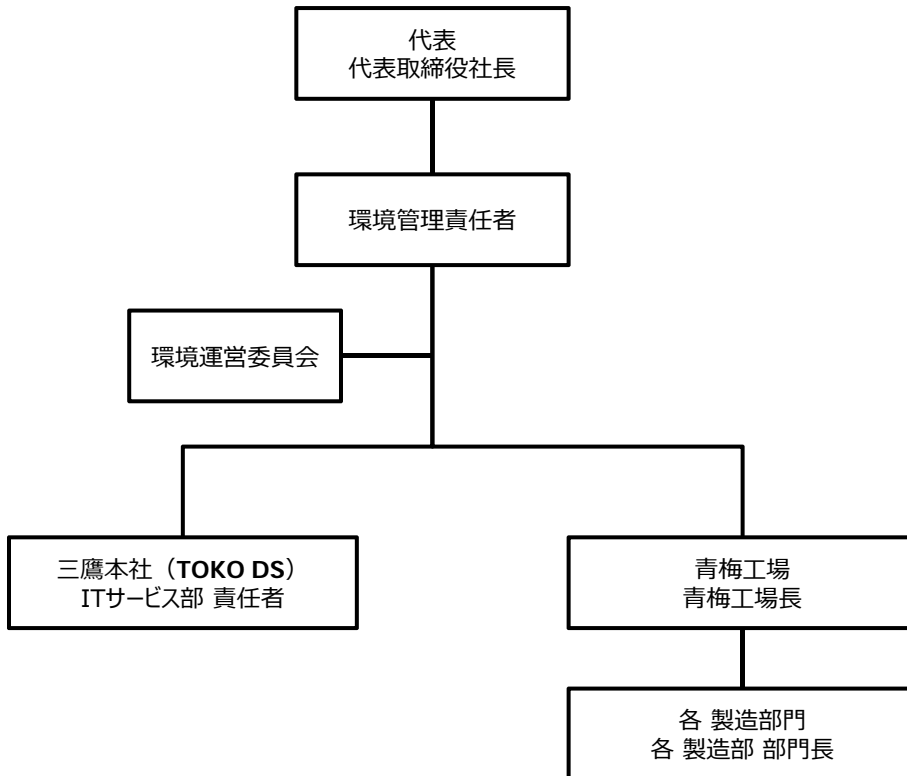
・対象範囲　当社は全組織・全活動・全従業員を対象としています

3. 環境方針

株式会社東興電機製作所は、医療機器の製造、放射線測定装置の製造およびITに関する様々なサービスを提供している環境負荷の低い事業所です。次世代に豊かな地球環境を引き継ぐため、社員ひとりひとりが楽しみながら環境保全活動に取り組んでいきます。

(1) 製造工程、ITサービス業務で使用する電気消費量の削減に取り組みます。
(2) 社員全員が会社の環境負荷を把握し、省エネルギー・廃棄物の削減に努めます。
(3) 製品不良率の削減、早期納品、およびIT技術の活用による業務効率化により、
環境負荷の低減に取り組みます。
(4) 社員全員が環境保全に対する意識向上に努めます。
(5) 社外に環境保全活動の重要性を発信していきます。
(6) 環境に関する法規制や条例および当社が合意するその他の要求事項を遵守します。
(7) グリーン購入に努めます。

平成24年10月24日
株式会社東興電機製作所
代表取締役社長　坂郷治

4. 環境管理組織図

役割、責任及び権限

代表	1. 代表者として環境経営全般に関して責任と権限を持つ。
	2. 環境方針を承認、周知する。
	3. 資源（人・もの・金）の決定権を有する。
	4. 定期的にEA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する。
	5. 環境管理責任者、環境運営委員等を任命する。
環境管理責任者	1. EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築、実行し、環境面の実績の向上をはかる。
	2. 上記結果を代表者へ報告する。
	3. EA21文書類の承認、決済を行う。
	4. 環境委員会の委員長として環境保全活動全般の舵取り、実行推進を行う。
	5. 資源（人・もの・金）の承認を行う。
	6. 環境委員、部門代表者を指名する。
	7. 社外からの苦情などの環境管理情報を受理、記録する。
	8. その他環境マネジメントシステムの確立、実施、維持及び管理に関し必要な業務を行う。
環境運営委員会	1. 環境方針の作成、見直しを行う。
	2. 環境マネジメントシステムの運用管理に必要な、人的資源、技能等の準備を行う。
	3. 環境管理責任者を推薦し、環境マネジメントシステムの確立、実施、維持等に関する業務及び、 環境マネジメントシステムの実績に関し本会議に報告する業務を行う。
	4. 環境への負荷の自己チェックを実施する。
	5. 環境への取り組みの自己チェックを実施する。
	6. 環境目標の設定及び環境活動計画の作成、見直しをする。
	7. 環境経営の手順書の作成及び改定をする。
	8. 環境管理体制の整備をする。
	9. 環境マネジメントシステムの見直しをする。
	10. 環境管理委員会の円滑な運営のための各部門内の連絡・調整をする。
部門責任者	1. 環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う。
	2. 環境方針、環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する。
	3. 社内外の環境情報の収集と伝達をする。
	4. 環境活動計画の見直しを提言する。
社員	1. 部門責任者の指示を受けて、環境目標、環境活動計画の達成を行う。
	2. 部門責任者の指示を受けて、エコ活動の実施を徹底する。

5. 環境目標と実績

・三鷹本社

環境負荷の低減					
鉛フリーはんだへの切り替え	評価	実績			
可能な限り、鉛フリーはんだに切り替える	--	該当なし			
CO2排出量（kg-CO2）の削減	評価	【目標】2014年度 基準年比削減率(%)	【実績】2014年度 基準年比削減率(%)	2014年度 実績	2013年度 実績
CO2排出量（kg-CO2）	○	-1%	-6.9%	3,476.27	3,734.33
電力使用量(kWh)	○	-1%	-7.8%	6,559	7,113
ガス使用量(m3)	--	--	--	--	--
ガソリン使用量(ℓ)	--	--	--	--	--
灯油使用量(ℓ)	--	--	--	--	--
廃棄物量　排出量紙の廃棄物(kg)	×	-1%	+108.0%	208	100
全一般廃棄物量(kg)	×	-1%	+23.2%	175	142
上水使用量　上水量(m3)	--	＊1	＊1	＊1	＊1

＊1　賃貸オフィスのため水道使用量は不明

・青梅工場

環境負荷の低減					
鉛フリーはんだへの切り替え	評価	実績			
可能な限り、鉛フリーはんだに切り替える	○	顧客要求により、すべてを鉛フリーに移行できないが、可能な箇所については対応が完了した。（RoHS対応済）			
CO2排出量（kg-CO2）の削減	評価	【目標】2014年度 基準年比削減率(%)	【実績】2014年度 基準年比削減率(%)	2014年度 実績	2013年度 実績
CO2排出量（kg-CO2）	○	-1%	-3.4%	34,946.80	36,172.12
電力使用量(kWh)	×	-1%	+7.9%	52,018	48,202
ガス使用量(m3)	--	--	--	--	--
ガソリン使用量(ℓ)	○	-1%	-32.1%	3177.58	4,680.3
灯油使用量(ℓ)	--	--	--	--	--
廃棄物　排出量紙の廃棄物量(kg)	○	-1%	-8.9%	1,810	1,987
全一般廃棄物量(kg)	×	-1%	+27.9%	1,877	1,467
上水使用量　上水量(m3)	×	-1%	+21.1%	161	127

東京電力㈱の排出係数：0.53（kg-co2/kWh）を適用（平成26年12月5日環境省公表 平成25年度実績）
ガソリンの排出係数：2.32166（kg-co2/L）を適用（環境省：排出量算定方法ガイドライン試案 Ver1.6）
灯油の排出係数：2.49193（kg-co2/L）を適用（環境省：排出量算定方法ガイドライン試案 Ver1.6）

・三鷹本社、および青梅工場

評価基準　○目標達成、△目標未達成ただし基準年比減、×目標未達成、－評価対象外

自らが生産・販売・提供する製品及びサービス

目標	評価	実績
配送方法の効率化	○	可能な限り、共同配送便を利用 ＊原材料については、発注元よりすべて支給されるため、独自に環境に配慮した原材料を調達するのは現状難しい。

社員への環境教育

目標	評価	実績
環境活動の活性化	△	・社員が集まる場所に環境コーナー（エコアクション21情報コーナー）を作成し、ポスターの掲示、環境方針や環境活動計画表を張り、周知 ・環境計画に基づいた呼びかけステッカーを作成、掲示し、日常生活の中で環境計画の実行徹底 ・ペットボトルのキャップを回収し、途上国へのワクチン代などに利用するエコキャップ運動を継続的に実施 ・月毎のエネルギー使用量をグラフ化し、掲示 ・社員に環境関連の資格取得の支援の呼びかけは行えなかった。 ⇒　目標未達成

社外への働きかけ

目標	評価	実績
情報公開、環境活動の推進	○	・環境方針やエコアクション21の取り組みを当社製造部門Webサイトにも掲載 （2013年7月にサイトリニューアル） 製造部門：http://www.tokods.com/tds/csr/environment ITサービス部門：http://www.tokods.com/jp/about-us/eco-activities 環境への取り組み特設サイト：http://www.tokods.com/eco/index.html

グリーン購入

目標	評価	実績
グリーン購入（エコマーク製品の購入）に努める 各事業所50%以上をめざす	△	・新規の名刺用紙については、レイナ再生紙（再生紙率20%以上）を使用 ・ティッシュペーパー、トイレットペーパーを再生紙100%の環境負荷の低い製品を継続して使用 ・事務用品購入担当者へ、グリーン購入を優先的に購入するよう呼びかけを実施 ・社内で使用する用紙を環境負荷の低い、植林樹パルプを使用したものを継続して使用 ・社内備品購入数（アスクル・カウネット）うちグリーン購入法適合商品またはエコマーク商品が占める割合 三鷹本社：42%，青梅工場：25%　（全体：41%） ⇒　目標未達成

＊2014年度については、2014年1月1日～2014年12月31日までの期間とします。
＊廃棄物の分別、廃棄方法については、本社および青梅工場所在地の東京都武蔵野市、青梅市のごみの種別、分別の仕方に従っています。
＊環境負荷の把握・分析の結果、当社は環境負荷が低い事業所であることが明らかとなったため、各削減目標設定値を低く据えていますが、さらなるCO2削減、環境負荷の低減に努めます。
＊灯油は2008年度にて使用全廃を達成しています。

6. 環境活動計画・取組結果と評価

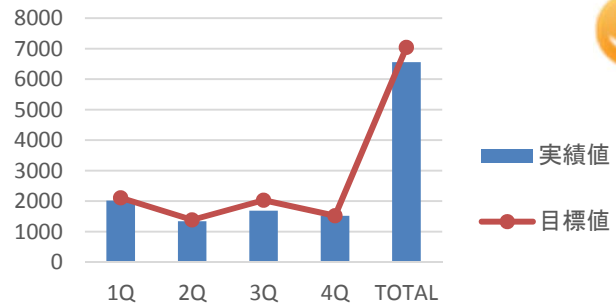
評価基準　○目標達成、△目標未達成ただし基準年比減、×目標未達成、－評価対象外

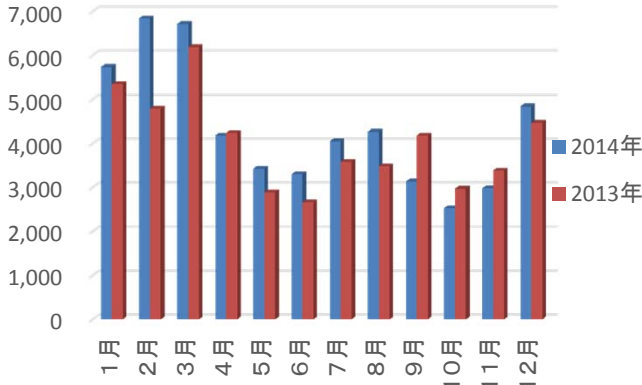
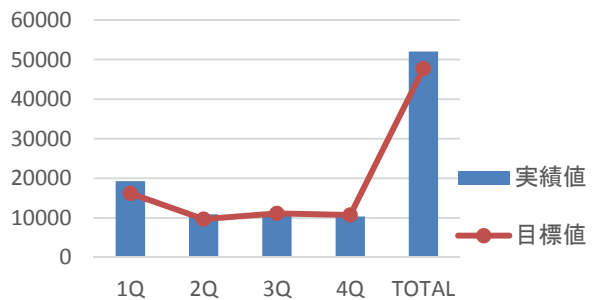
鉛フリーはんだへの切り替え					
環境活動計画の内容	評価	目標値	実績値	取組結果	次年度の取組内容
鉛フリーはんだへの切り替え	○	--	--	顧客要求により、すべてを鉛フリーに移行できないが、可能な箇所については対応が完了した。（RoHS対応済） <三鷹本社> 該当なし <青梅工場> 以上の取り組みにより、目標を達成した。	対応状況のチェックを実施する

6. 環境活動計画・取組結果と評価

評価基準　○目標達成、△目標未達成ただし基準年比減、×目標未達成、－評価対象外

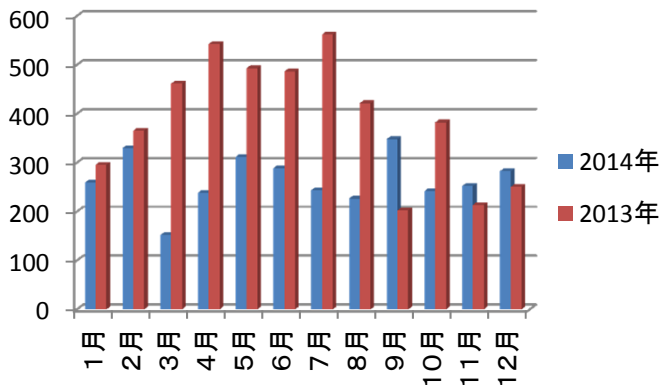
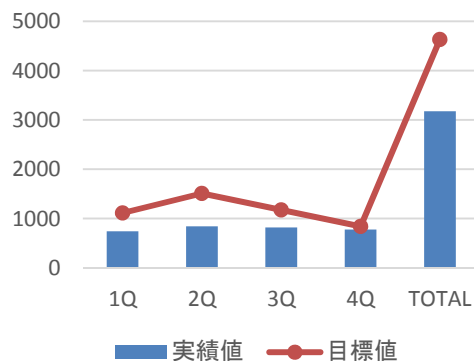
CO2排出量の削減 － 電力使用量

環境活動計画の内容	評価	目標値	実績値	取組結果	次年度の取組内容
電力使用量 - 不要照明の消灯 - 周辺機器の節電 - 内温度調節の徹底	×	三鷹本社 7,041 (kWh) 青梅工場 47,719 (kWh)	三鷹本社 6,559 (kWh) 2013年度の実績値に対し、-7.8%達成 青梅工場 52,018 (kWh) 2013年度の実績値に対し、7.9%	・お昼休みに消灯した。 ・不要な電気はこまめに消した。 ・OA機器は使用しない時は電源OFFか省電力モードに設定した。 ・離席するときにはパソコンをスタンバイモードにした。 ・暖房便座は夏期は電源を落とし、使用後は蓋を閉めた。 ・冷房温度を27℃±１℃、暖房温度20℃±１℃に設定し、クールビズ、ウォームビズを実行した。 <三鷹本社> 以上の取り組みにより、目標値を達成することができた。 <青梅工場> 以上の取り組みを実施したが、目標を達成できなかった。業務量増加により残業が増えたことが一因と考えられる。	2014年度の排出量実績に対し、1%削減をめざす

◆三鷹本社

◆青梅工場

6. 環境活動計画・取組結果と評価

評価基準　○目標達成、△目標未達成ただし基準年比減、×目標未達成、－評価対象外

CO2排出量の削減 － ガソリン使用量

環境活動計画の内容	評価	目標値	実績値	取組結果	次年度の取組内容
ガソリン使用量 - 車輌の点検整備の徹底 - エコドライブの実践 - 適切な資源の選択、設定	○	三鷹本社 -- (ℓ) 青梅工場 4,633.50 (ℓ)	三鷹本社 -- (ℓ) 青梅工場 3,177.58 (ℓ) ⇒2013年度の実績値に対し、-32.1%達成	・タイヤの空気圧が適正に保たれているか乗車前に確認した。 ・使わない荷物を降ろした。 ・おだやかな発進、加速を心がけた。 ・目標に近づいたら早めにアクセルをゆるめた。 ・慣性走行を活用した。 ・経済速度で運転した。(一般道40km/h, 高速道路80km/h) ・十分な車間距離をとって速度の変動をなくした。 ・アクセルを離して減速開始ポイントを早めにした。 ・駐車時のアイドリングをやめた。 ・クーラーの使用は控えた。 ・暖機運転をやめた。 ・公共交通機関での通勤を心がけた。 <三鷹本社> 社用車の使用はなかった。 <青梅工場> 以上の取り組みにより、目標値を達成することができた。	2014年度の排出量実績に対し、1%削減をめざす

評価基準　〇目標達成、△目標未達成ただし基準年比減、×目標未達成、－評価対象外

上水使用量の削減

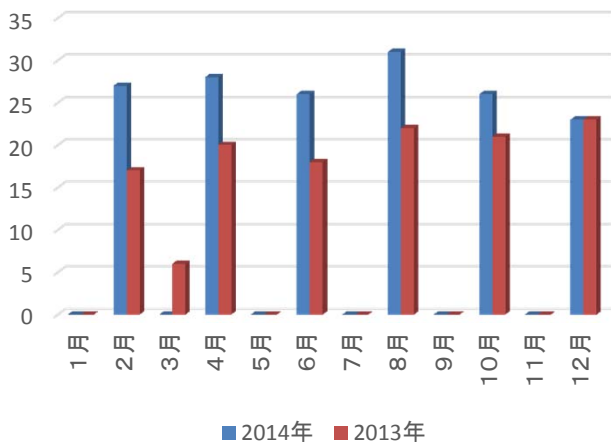
目標	評価	目標値	実績値	取組結果	次年度の取組内容
節水の徹底	－	三鷹本社 -- (m3) 青梅工場 125 (m3)	三鷹本社 -- (m3) 青梅工場 161 (m3) ⇒2013年度の実績値に対し、+21.1%	・水道使用中、水を出しっぱなしにしなかった。 ・水道の水を出しすぎなかった。 ・水道の蛇口を使用後、しっかり閉めた。 ・水道の水を、こまめに止めた。 ・水漏れのチェックをした。 <三鷹本社> 賃貸オフィスのため水道使用量は不明な為、実績値はなし。ただし、節水への取り組みは実施した。 <青梅工場> 以上の取り組を実施したが、目標を達成できなかった。業務量増加による、使用量の増加が一因と考えられる。	2014年度の排出量実績に対し、1%削減をめざす

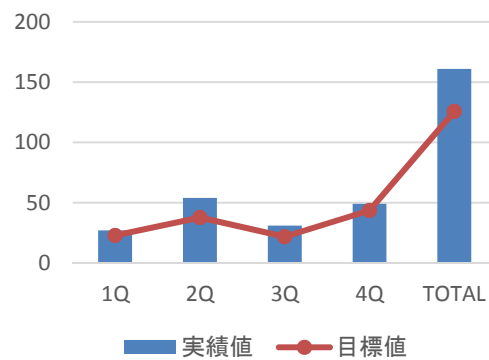
◆三鷹本社

該当なし

◆青梅工場

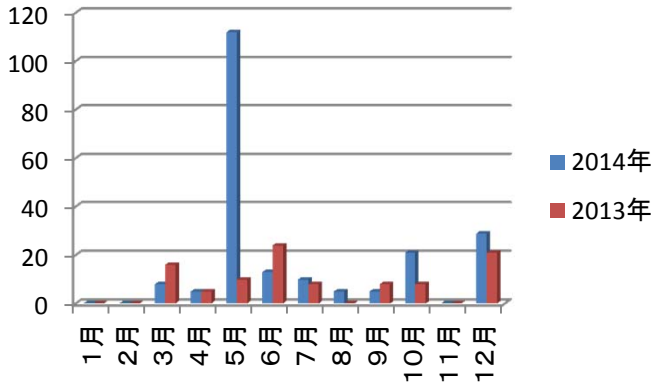
実績（月別）

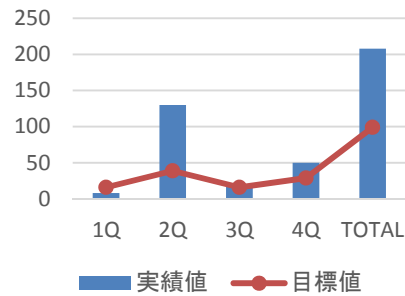
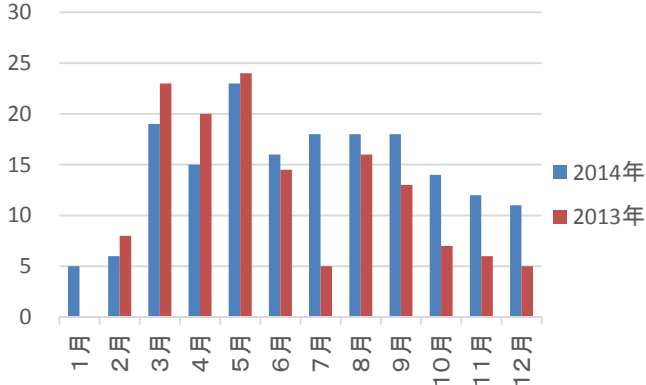
■2014年　■2013年

2013年度の実績値に対し、+21.1%　　未達成

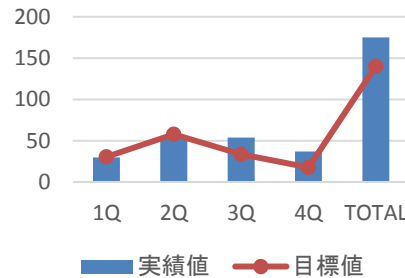
実績値　目標値

評価基準　○目標達成、△目標未達成ただし基準年比減、×目標未達成、－評価対象外

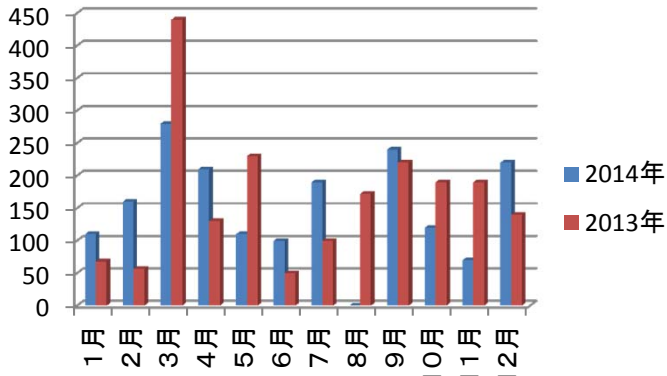
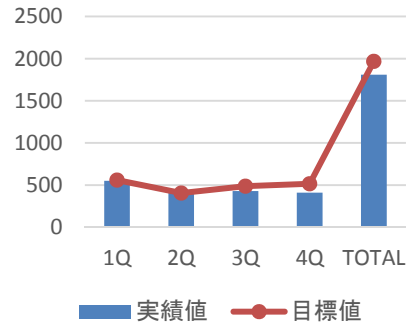
廃棄物量の削減

目標	評価	目標値	実績値	取組結果	次年度の取組内容
分別の徹底 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の徹底 排出量の把握	×	三鷹本社		・ゴミの分別を徹底した。 ・社内文書は両面印刷、省インクモードで印刷した。 ・社内文書は裏紙を利用した。 ・使用済みインクカートリッジは業者指定のリサイクル店へ返却。 ・ゴミを捨てるたびにその量を計測、記録した。 <三鷹本社> 以上の取り組みを実施したが、排出量紙の廃棄物量、全一般廃棄物量ともに目標を達成出来なかった。原因としては5月と12月にプロジェクト終了に伴うテスト用紙の大量廃棄があったためと考えられる。 <青梅工場> 以上の取り組みにより、排出量紙の廃棄物量については、目標を達成した。全一般廃棄物量について、目標を達成できなかった。原因としては月に一度の整理整頓日を設けたため、不用品が多く廃棄されたことが考えられる。	2014年度の排出量実績に対し、1%削減をめざす
		排出量紙の廃棄物量 99(Kg)	排出量紙の廃棄物量 208(Kg) 2013年度の実績値に対し、+108%		
		全一般廃棄物量 140(Kg)	全一般廃棄物量 175(Kg) 2013年度の実績値に対し、+23.2%		
		青梅工場			
		排出量紙の廃棄物量 1,967(Kg)	排出量紙の廃棄物量 1,810(Kg) 2013年度の実績値に対し、-8.9%を達成		
		全一般廃棄物量 1,452 (Kg)	全一般廃棄物量 1,877(Kg) 2013年度の実績値に対し、+27.9%		

◆三鷹本社

2013年度の実績値に対し、+108%

未達成

2013年度の実績値に対し、+23.2%

未達成

◆青梅工場

排出量紙の廃棄物量 - 実績（月別）

450
400
350
300
250
200
150
100
50
0

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

■2014年
■2013年

2013年度の実績値に対し、-8.9%

達成

2500
2000
1500
1000
500
0

1Q 2Q 3Q 4Q TOTAL

実績値 目標値

全一般の廃棄物量 -実績（月別）

450
400
350
300
250
200
150
100
50
0

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

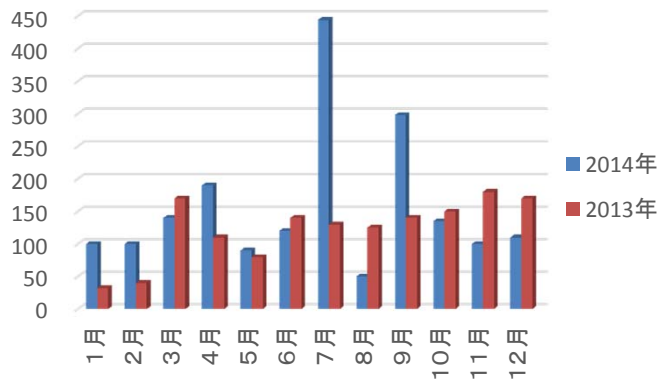
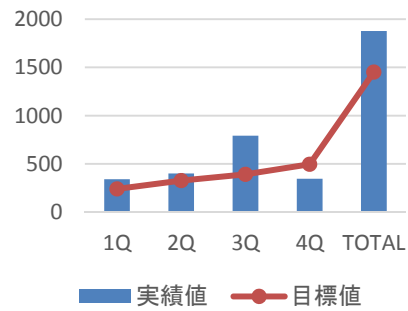
■2014年
■2013年

2013年度の実績値に対し、+27.9%

未達成

2000
1500
1000
500
0

1Q 2Q 3Q 4Q TOTAL

実績値 目標値

評価基準　○目標達成、△目標未達成ただし基準年比減、×目標未達成、－評価対象外

自らが生産・販売・提供する製品及びサービス

目標	評価	目標値	実績値	取組結果	次年度の取組内容
配送方法の効率化	○	--	--	可能な限り、共同配送便を利用した。 ＊原材料については、発注元よりすべて支給されるため、独自に環境に配慮した原材料を調達するのは現状難しい。 <青梅工場> 以上の取り組みにより、目標を達成した。 <三鷹本社> 該当なし	継続実施する また、顧客への成果物PDFなどデジタルデータで納品し紙面での印刷は必要最小限に控える

社員への環境教育

目標	評価	目標値	実績値	取組結果	次年度の取組内容
環境活動の活性化	△	--	--	・社員が集まる休憩室に環境コーナー（エコアクション21情報コーナー）を作成し、ポスターの掲示、環境方針や環境活動計画表を張り、周知した。 ・環境計画に基づいた呼びかけステッカーを作成、掲示し、日常生活の中で環境計画の実行徹底するようつとめた。 ・ペットボトルのキャップを回収し、途上国へのワクチン代などに利用するエコキャップ運動を継続的に実施した。 ・月毎のエネルギー使用量をグラフ化し、掲示した。 ・社員に環境関連の資格取得の支援の呼びかけは行えなかった。 ⇒　目標未達成 <三鷹本社> および <青梅工場> 以上の取り組みを実施した。 環境関連の資格取得支援については十分に出来なかった。	継続実施する

社外への働きかけ

目標	評価	目標値	実績値	取組結果	次年度の取組内容
情報公開、環境活動の推進 －環境方針を自社Webサイトに掲載する －環境関連情報を自社Webサイトに掲載する	○	--	--	・環境方針やエコアクション21の取り組みを当社Webサイトに掲載した。また環境レポートを掲載するだけでなく、環境負荷の低減への取組の紹介を中心に、見やすくわかりやすいWebサイトを目指し構築した。 <三鷹本社> および <青梅工場> 以上の取り組みにより、目標を達成した。	継続実施する

評価基準　○目標達成、△目標未達成ただし基準年比減、×目標未達成、－評価対象外

グリーン購入

目標	評価	目標値	実績値	取組結果	次年度の取組内容
グリーン購入（エコマーク製品の購入）の促進 - 各事業所で社内備品購入数（アスクル・カウネット）うちグリーン購入法適合商品またはエコマーク商品が占める割合が50%以上をめざす	△	三鷹本社 50(%) 青梅工場 50(%)	三鷹本社 42(%) 青梅工場 25(%)	・新規の名刺用紙については、レイナ再生紙（再生紙率20%以上）を使用した。 ・ティッシュペーパー、トイレットペーパーを再生紙100%の環境負荷の低い製品を継続して使用した。 ・事務用品購入担当者へ、グリーン購入を優先的に購入するよう呼びかけを実施した。 ・社内で使用する用紙を環境負荷の低い、植林樹パルプを使用したものを継続して使用した。 ・中古品の購入、および再利用を推進した。 ・社内備品購入数（アスクル・カウネット）うちグリーン購入法適合商品またはエコマーク商品が占める割合 三鷹本社：42%，青梅工場：25%　（全体：41%） ⇒　目標未達成 2013年度実績値 三鷹本社：47%，青梅工場：30%　（全体：41%） <三鷹本社> および <青梅工場> 以上の取り組みを実施した。 グリーン購入法適合商品またはエコマーク商品が占める割合は、50%以上を達成できなかったが、グリーン購入の基本原則である「必要性の考慮」を行い、前年度より購入数を削減することができた。	継続実施する また社内備品購入数（アスクル・カウネット）うちグリーン購入法適合商品またはエコマーク商品が占める割合50%となるよう、より環境を意識したグリーン購入に努める

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規の違反・訴訟等は、当社の環境関連法規制一覧表にてチェックした結果、過去および現在において一切ありませんでした。また、創業以来、関係機関等からの法規制違反の指摘、近隣からの指摘・苦情もありません。

なお、下記法規制等が当社に該当いたします。

- 法律 -

環境基本法
循環型社会形成推進基本法
RoHS指令
下水道法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律
道路運送車両法
消防法
労働安全衛生法電離放射線障害防止規則
製造物責任（PL）法
グリーン購入法
フロン回収・破壊法

- 条例 -

【東京都】
東京都健康と安全を確保する環境に関する条例
（東京都環境確保条例等）
【武蔵野市】
武蔵野市廃棄物の処理及び再利用促進に関する条例
【青梅市】
青梅市廃棄物の処理及び再利用促進に関する条例

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクションを取得して丸5年たち、節電、節水、節エネルギーの意識、無駄を無くす意識は、社内全般にかなり根付いてきた。
ISO9001、ISO13485の認証を取得したことをきっかけに、品質の意識も少しずつ上がってきており、各認証が机上の空論で終わらず、業務の中に浸透し、活きつつある。
特にISO13485の認証を取得したことは社外への営業アピールの効果も大きく、既存の顧客からも当社の品質への信頼の裏付けの一つにもなっている。
認証が多くなると、作成する文書の量も増え、作成にも時間がかかるため大変な面もあるが、文書作成をルーチンワークの中にうまく組み込むことで、認証取得したことが「余計な仕事が増えた」ことにならないで済むような工夫をしていく必要がある。

平成27年1月20日
株式会社東興電機製作所
代表取締役社長　坂郷治